

平成 25 年度予算編成に対する
要望書

重点要望書

公明党岡山市議団

平成24年11月28日

岡山市長 高谷茂男 様

公明党岡山市議団

団長 磯野昌郎

平成25年度予算要望書

昨年3月11日に発生した東日本大震災の被害は未だに市民の中に大きな不安を残しています。南海トラフ巨大地震が想定されるなか、防災・減災対策は市民の生命・財産を守るため、何よりも優先して取り組まなければならない急務の課題であります。

また、わが国の経済は、世界的な景気減速や迅速さに欠ける政府の景気対策などで、先行き不透明な状況が続いています。

こうした中で、公明党は超高齢社会の到来を受け、将来不安を払拭すべく従来の年金・医療・介護の充実に一層取り組むとともに、「新しい福祉」を掲げて、うつ、認知症、DV、児童虐待、孤独死などの新しいリスクに対応できる社会の実現を目指しています。

一方、岡山市においては、将来に亘る安全・安心に向け、災害に強い街づくり、いじめ、暴力、不登校等の教育上の諸課題の解決は緊急の課題であります。また、それぞれの区ごとにある地域の課題に根ざした施策が強く望まれております。

これらを踏まえ、平成25年度当初予算編成を前に、公明党岡山市議団は以下の要望をいたします。

25年度予算編成に対する要望項目

★印は新規予算要望項目

<総務委員会>

1. 平成24年度における基幹業務システムの最適化と行政業務改善(BPR)の取り組みについて、市民サービスの向上、業務の効率化、コスト削減等の成果を示すとともに、25年度においては、成果を数字で示すことのできる取り組みを行うこと。
2. 入札に不良不適格業者対策の強化を図るとともに入札ミスの未然防止対策及び再検証に取り組むこと。
3. 後樂園、岡山城を中心にした岡山の歴史、文化の拠点となるカルチャーゾーンの整備を推進すること。
4. 過疎地域の自立促進計画を着実に実施すること。
5. 生涯学習に限らず、全庁的な公共施設予約システムを導入すること。
6. 労使交渉を公開すること。

<保健福祉委員会>

(高齢者等への支援)

7. 地域包括支援センターと安全安心ネットワーク、民間事業者などとの連携を強化し、地域全体で高齢者を支えるネットワークを強化すること。
8. 人感センサー等による安否確認や食料品などの宅配業務など ICT(情報通信技術)を利活用し、見守り・外出・買い物等の生活支援サービスを充実すること。
9. 地域における居場所づくりとして公共施設での交流を推進し、生活関連情報など提供体制を強化すること。
10. 市民後見人の育成等を通じた成年後見制度の更なる利用・促進を図ること。
11. 岡山市認知症疾患医療センターの県との役割分担と連携の向上を図り、認知症コールセンターと合わせて周知を強化すること。

(自殺・うつ対策)

12. 自殺予防対策の充実を図ること。★
13. うつ病の改善に有効な「集団認知行動療法」をこころの健康センターにおいて取り組むとともに、復職支援を行うこと。
14. 病院への通院に困難を抱えている方や、未治療の方などに対し、アウトリーチ(訪問

支援)により、医療・保健・福祉サービスを包括的に提供し、きめ細やかな支援を行うための体制を確立すること。

15. うつ病の早期発見・早期治療を図るため、かかりつけ医等のうつ病に対する対応力を向上させるための研修事業の対象の拡大と研修内容の充実を図ること。

(子育て支援、児童虐待防止対策)

16. 保留児を解消するため保育園の定員増加と保育園の整備を推進すること。
17. 保育園の耐震化を急ぐこと。
18. 保育園の送迎用駐車場を整備すること。
19. 児童クラブの運営に保護者の意見を反映し、受け皿の拡充を図ること。
20. 児童クラブへの補助を小学校6年生まで拡充すること。
21. 子育て支援の政策決定過程から、子育て家庭のニーズがしっかりと反映できるよう、子育て当事者等をメンバーとする「地方版子ども子育て会議」を設置すること。★
22. 子ども医療費の無料化を段階的に推進すること。(まずは小学校3年生までの通院分を無料化すること)★
23. 不育症治療費助成事業に取り組むこと。★
24. 地域における児童虐待防止体制の強化を図るとともに、通報の受け入れ体制を強化すること。
25. 父子家庭の支援について、情報提供とネットワークづくりに努めること。★

(がん等予防対策)

26. 子宮頸がんワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンの予防接種費用に公費助成を継続して行うこと。
27. がん予防対策を強化するためにがん検診の受診率の向上を図り、学校教育の中でがん教育を推進すること。
28. 脳梗塞・心筋梗塞の予防対策を進めること。

(障害者支援)

29. 視聴覚障害者に対する専門機能を持った特別養護老人ホームを整備すること。
30. 手話通訳者や要約筆記者の要請事業を拡充すること。
31. 発達障害児(者)への支援策を推進すること。
32. 障害者就労支援センターを設置し、企業とのマッチングを推進すること。
33. 支援ロボットの導入、普及を促進すること。

(その他)

34. 市民病院等への女性専門外来設置を推進すること。

35. 「介護支援ボランティアシステム」の普及、お元気ポイント制度を創設すること。
36. 民生・児童委員の確保を支援し、待遇改善を進めること。
37. 鍼灸マッサージの無資格対策を進めること。
38. マッサージ券のPR等、事業普及に努めること。
39. DV被害者保護と自立支援の体制を整備するため、基金を創設し民間シェルターへの財政的支援を強化すること。
40. 岡山ERに性犯罪被害者のための総合相談窓口、緊急診察等、プライバシーを保護しつつ24時間対応が可能となるワンストップ支援センターの機能を設けること。
41. 骨髄提供者(ドナー)の継続的確保に向けて、ドナーの負担を軽くする助成制度に取り組むこと。★
42. 福祉用具購入費及び住宅改修費について、受領委任払い制度を導入すること。★

<経済委員会>

43. 地元雇用を創出する企業誘致を推進すること。
44. 若年者失業率の改善計画の策定ときめ細かい就労支援施策を講ずること。★
45. 若者を支援する総合的な雇用施策の充実を図ること。★
 - インターンシップ制度の充実、社会人講師の招聘推進。
 - 若年者の職場体験事業やきめ細やかな相談事業(キャリアカウンセリング)の推進。
 - 「おかやま若者就職支援センター」「おかやま新卒応援ハローワーク」の積極的活用。
46. 次代を担う若者をはじめとした「就職に向けた支援が必要な人」に対して、区役所での無料による職業相談・紹介事業を講ずること。★
47. 次代を担う経営者の育成や創業促進のための支援策を講ずること。★
48. 中小企業の経営基盤を強化する為に、中小会計要領のチェックリストを活用した低利融資制度を創設し、支援の安定化を図ること。
49. 中小企業における安定的な雇用が創出されるよう、中小企業の経営力強化のために、経営者塾などの経営者育成事業を講ずること。
50. ビジネスマッチングによる販路拡大や事業連携など、新事業創出・経営革新のための施策の充実に努めること。
51. 集客性を持ったコンベンション・観光事業に予算措置を行い、積極的な事業を展開すること。
52. 商業集積エリアのにぎわい創出の為に、まちづくり活動の支援策を積極的に推進すること。

53. 岡山駅周辺と表町地区について、回遊性と連携を高めること。
54. 岡山市の安全性などの特色と、本市で国連関連会議が行われることを国内外にアピールするため、シティプロモーションの拡大と充実に努めること。
55. 安全・安心な農作物が市民に提供されるよう各種施策に取り組むこと。
56. 岡山市の米を積極的にPRするとともに、米粉製品の普及等を通じて、米の消費拡大につなげること。
57. 子どもたちが、農作物体験を通じて食料や農業に関する理解を深めるため、学童農業体験など、食農教育を推進すること。
58. 農作物への鳥獣被害を防止するための対策について、従来の取り組みを拡充するとともに、猟友会任せにしないためにも、被害地域農林業者等への技術移転や迅速かつ的確に捕獲するためのアドバイザーの派遣等、適切かつ効果的な実施を図り、併せてその成果の検証を行うこと。
59. 有害鳥獣を利用した商品開発と販路の開拓・拡大に取り組むこと。
60. 牧山クラインガルテン、おかやまファーマーズマーケット・サウスビレッジの有効活用策を講ずること。★
61. 老朽化が進む農業施設に対し、適切な維持管理と修繕・更新を計画的・継続的に実施するための財源を確保し、長寿命化を図る対策を推進すること。
62. 速やかな樋門の開閉操作を図るため、また農業委員の負担軽減のため、樋門の機械化、電動化に取り組むこと。★
63. 観光施策・地域活性化策としてフィルムコミッションに取り組むこと。
64. 耕作放棄地対策の推進やセイタカアワダチソウの駆除に取り組むこと。★
65. 住宅の耐震化に向けた補助制度を拡充すること。
66. 防災対策として沿岸に防災林を整備すること。★

<環境消防水道委員会>

(環境)

67. 「生物多様性保全活動促進法」を受けて、岡山市として具体的な活動計画を策定し、さらに生物多様性の保全と地域の活性化を図っていくこと。
68. 2014年開催の国連 ESD の最終年會合に向けて実効あるものにするため、県や関係市町および関係団体との体制を整え、観光、教育、経済等の分野と連携して未来の岡山市を担う人材を育成するとともに、市民参加のワールドカフェ等の手法により、広く市民や地域が主体者として参画できる取り組みを実施すること。
69. 民地におけるスズメバチ駆除への補助等、対策を推進すること。
70. ヌートリア等、特定外来生物の駆除対策を強化すること。

71. 合併処理浄化槽の普及を強力に推進すること。
72. 自然エネルギーの普及拡大を図り、太陽光発電、小水力発電、バイオマスなどの産業化を推進すること。
73. 産業廃棄物処理施設の設置に関しては、環境保全に留意し、許可手続きを厳格化することなど住民の安全安心に配慮すること。

(消防)

74. 自衛消防団等、地域消防活動の支援を推進すること。
75. すべての消火栓の点検整備を行うこと。
76. 消防団機庫の整備および機材、装備の充実を図ること。
77. 消防団予備車両の導入をおこなうこと。
78. 消防新入団員の増員を促進すること。(女性団員を含む)
79. 消防女性団員の職場環境の整備を図ること。

(防災)

80. ゲリラ的集中豪雨から地域住民の生活を守るため、ハザードマップを抜本的に見直し、雨水貯留浸透事業の推進、急傾斜地居住対策の取り組み、災害に強いまちづくりを推進すること。
81. 民地ではあっても、斜面や耕作放棄畑の崩落や土砂の流出を防止する対策を検討すること。
82. 岡山市危機管理基本指針と岡山市地域防災計画に、住民の心構えと行動、地域住民の相互の助け合い体制を推進することを明記し、出前講座などで周知徹底を図り、訓練を実施すること。
83. 岡山市地域防災計画に女性の視点を取り入れ、防災、復興に積極的に参画できるようにすること。
84. 地域住民が安心して防災訓練に参加できるよう防災訓練用保険を導入すること。★
85. 総合防災対策局(仮称)を設置すること。
86. 児島湾対策について、県、倉敷市、玉野市、早島町等と連携し推進すること。
87. 東北(被災地)支援を継続して行うこと。
88. 災害時にも機能する幹線道路の整備など必要な道路整備を着実に推進すること。
89. 市民の貴重な財産を守るため、また安全・安心の確保の観点から、特に市街地の雨水排水対策を図ること。
90. 自主防災組織設立のため、地域の中に入り、その地域の特徴に応じた具体的なアドバイスをするなど、住民起点の積極的な取り組みを行うこと。また、既設組織については、地域内においてDIG や防災訓練などの定期的な実施により持続可能な取り組みの支援を行うこと。★

91. 災害時要援護者避難支援台帳を有効に活用するため、その必要性、有効性等の十分な周知を図るとともに、直接地域に入り、持続可能な取り組みの支援を行うこと。★
92. 市民の防災意識の啓発と人事育成の拠点機能を果たす市民防災センターの設置★

(水道)

93. 水道管の耐震化と更新を計画的かつ早急に図ること。

<建設委員会>

94. 都市交通戦略の柱である公共交通の重要性を市民に広く周知を図るとともに、地域住民の足の確保に向けた取り組みを実施すること。
95. 外環状線等の基幹と道路の整備については、計画が遅れないように実施すること。
96. 都市交通戦略の推進に向けて吉備線のLRT化、及び路面電車の岡山駅への乗り入れ、延伸と環状化を早期に実現すること。
97. 「自転車先進都市おかやま」を目指し、コミュニティサイクルの本格導入とともに、自転車専用通行帯の設置や自転車道の整備をさらに郊外へ向け拡充すること。
98. 道路・橋梁の計画的修繕や照明整備に必要な維持管理費を確保するとともに拡充に努めること。★
99. 街路や公園などで緑化を進め、緑のボリュームアップを推進すること。
100. ビジョン「水と緑の都市プロジェクト」で示されている公園・緑地の貴重な資源を生かし、魅力あふれる中心市街地の形成に努めること。
101. 水と緑の貴重な空間である西川緑道公園を中心として、魅力づくりとにぎわい創出を図ること。
102. 地域の公園・緑地の配置について、見直しを含め、不足している地域の解消に努めること。
103. 市営住宅の建て替え計画を再策定し、入居停止状態が長期にわたり多くの空き部屋が発生したまま放置されている住宅の建て替えが、着実に前進する取り組みを行うこと。
★
104. 新婚・若者世帯が住みやすく子育てしやすい市民住宅の推進を図ること。
105. 空家対策条例を制定し、事故や環境悪化を防止すること。
106. 突然の失業や生活困窮等による住宅喪失者に対する一時的な住宅として(仮称)セーフティネット住宅を市営住宅の空き室等で整備すること。
107. 高齢者の居住の安定確保に向けて高齢者向けのサービス付高齢者住宅の供給促進を引き続き図ること。
108. 汚水排水処理対策について、公共下水道汚水整備の格段の措置を図ること。

<市民文教委員会>

<市民局>

- 109.プロスポーツを通して、全国的に岡山市をPRする仕組みをつくり、市民と連動する基本方針(条例)等を推進すること。
- 110.より一層の市民サービスの向上を図るため、地域窓口の役割を拡充させ、人員配置、予算措置の充実をさせること。
- 111.各区役所においては、窓口のワンストップ化や土日・夜間のサービスなど身近で便利な市民サービスに努めること。
- 112.政策決定分野に女性の登用をはかり、男女共同参画社会の実現に向けて全庁的に取り組むこと。
- 113.市民の墓地・納骨の希望に対応した納骨堂の整備を進めること。
- 114.墓地参道の整備を計画的に推進すること。★
- 115.町内会の負担に馴染まない通学路など、市民の安全に留意した防犯灯設置を推進すること。
- 116.消費生活、無料法律相談、多重債務等各種相談窓口業務を拡充すること。
- 117.各種証明書のコンビニ交付の推進を図ること。
- 118.交通安全施設については、その可否の判断を住民判断に任せるばかりではなく、専門機関としての行政が積極的に関わり、安全安心のまちづくり実現に資すること。★
- 119.維持管理課の人員を増員すること。

<安全安心ネットワーク>

- 120.町内会の防犯活動や防災活動において、補助金の拡充を進め、組織率の向上を図るとともに、申請条件等も簡素化にすること。

<教育委員会>

- 121.体育館へのテレビ、ラジオ、電話、ファクスの環境整備を進めること。
- 122.非常用発電設備、体育館の洋式トイレの設置と学校施設内に災害用トイレシステムなどの生活用インフラを整備すること。
- 123.備蓄倉庫の整備(飲料、水、常備薬、炊き出し用具、毛布等)を進めること。
- 124.災害時の学校運営体制を明確にすること。
- 125.競技から生涯スポーツまで、市民がスポーツに親しむための環境整備の充実に取り組むこと。
- 126.義務教育の9年間を通じたカリキュラムを策定し、小中一貫教育の導入を進めること。

- 127.学校へのエアコンの設置や校庭・園庭の芝生化を進めること。
- 128.学校給食を原則米飯にすること。
- 129.私立幼稚園の就園奨励補助金を国基準に見直しをすること。
- 130.学校飼育動物サポート事業を実施すること。
- 131.学校支援員の体制を強化すること。
- 132.学校トイレ総点検で明るいトイレの整備を推進すること。
- 133.ALTの講師派遣を通年化すること。
- 134.幼稚園の耐震化を急ぐこと。
- 135.幼稚園の送迎用駐車場を整備すること。
- 136.発達障害児の支援対策について、就学前に児童全員が受診できる体制を作り、保育園、幼稚園、小中学校の環境整備と教職員の増員、体制の強化を図ること。
- 137.通学路の安全確保について、先に実施された総点検結果を重視し、その実現に最大限に取り組むこと。★
- 138.脳脊髄液減少症の正しい理解と適切な支援に取り組むこと★
- 139.性同一性障害の正しい理解と適切な支援に取り組み、相談体制を整備すること★

(いじめ対策)

- 140.「いじめは、いじめた側が100%悪い」「いじめは犯罪」との理念の浸透に取り組むこと。
★
- 141.学校現場において、教職員、児童、生徒が、いじめの認識や定義を明確にすること。
★
- 142.学校全体で いじめの予兆を早期に発見できる体制を構築すること。★
- 143.学校・教育委員会・外部有識者による「いじめ対策チーム」を設置し、いじめの情報や判断を共有し、解決に向けて対策を講ずること。★
- 144.被害者の保護、加害者への措置、両者の心のケア、再発防止といったいじめ対処の原則を再度徹底すること。★
- 145.いじめ防止条例(仮称)の制定に取り組むこと。★

以上